

## 令和8年 第2回 原村議会定例会 一般質問通告一覧表

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1	芳澤 清人	1 包括的性教育の必要性について	<p>1 小学校高学年から中学生は、思春期を迎え、子どもから大人へと成長していく大切な移行期である。特にこの時期は、心や体、社会への関心が大きく変化する時期でもある。身体的な性徴が現れるとともに、心の面でも大きな成長が見られる。自立したいという気持ちが芽生える一方で、家庭や人間関係、集団の中での自分の在り方などに不安を感じ、心が揺れ動くのも思春期の特徴である。このように、心と体が大きく変化し、互いに深く関わり合う大切な時期において、学校教育の中で包括的性教育の重要性や必要性についてどのように考えているか。教育長の考えを伺う。</p>	教育長
			<p>2 小学校高学年より性徴期には、性への関心や自己の身体の変化に対する不安、心の動揺などが見られるのは成長の過程における自然な段階である。女子の特徴としては初潮がある。これは生命の誕生につながる大切なことであるが、児童生徒においては、知識不足による不安や否定的な受け止めにつながることも予測される。そこで、小学校では男女の体の変化や違い、命と体の大切さについて、中学校では思春期の体と心、特に性周期や感染症などに関する科学的理解、妊娠と出産の仕組みなどについて、男女ともに体系的に学ぶ教育が必要であり重要と考えるがどうか。</p>	教育長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1	芳澤 清人		<p>3 児童生徒は、性や心、身体に関する悩みについて、先生や保護者に相談できず、一人で悩みを抱え込む傾向があると考えられる。こうした児童生徒を守るためには、相談体制の仕組みを整えることが必要であるとする。相談窓口を含め、学校における相談体制についてどのように対応しているのか伺う。</p>	教育長
			<p>4 中学校では、性教育が学習指導要領に具体的に扱われていない。指導が難しい、扱いにくい、教科に直接関係しないといった理由から、性教育が避けられる傾向にあるのではないかと考える。こうした状況を踏まえ、全ての教科を通じて取り組むことができる性教育が必要であるとするが、教育長の考えを伺う。</p>	教育長
			<p>5 性暴力は、絶対にあってはならないことである。性暴力の対象になりやすい人の特徴として、断ることが苦手であること、優しくおとなしい性格であること、逆らえない性質などが挙げられる。性教育の過程において、「嫌なこと」「ダメなこと」をさせない、またはしてはならないという教育を行うこと、さらに自己の心と身体を守り、他者を尊重する心の教育を徹底することが必要であるとするが、教育長の見解を伺う。</p>	教育長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	芳澤 清人	2 ジェンダー教育の必要性について	1 ジェンダー教育は、包括的性教育の一環として、できる限り早い段階から指導することが求められているが、現在どのような指導が行われているのか。社会には、思い込みや固定観念として、女は赤色、女性らしい感性を持つもの、男は青色、働いて家庭を支えるものといった見方がある。「女らしさ」「男らしさ」に縛られず、平等で、いじめや差別のない、互いに尊重し合う態度を養うことは、将来の進路選択や生き方にもつながる重要な教育であると考えているが、ジェンダー教育についてどのような指導が行われているのか伺う。	教育長
		3 男女共同参画について	1 男女が互いに人権を尊重し、責任を分かち合い、性別に関係なくその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、重要な課題である。諏訪広域において、男女共同参画宣言を行っていないのは本村のみと聞いている。男女共同参画宣言を行い、その推進を図っていくことが肝要であると考えているが、見解を伺う。	村長 教育長
			2 第6次総合計画には、[教育文化]の個別計画において「男女共同参画基本計画」が掲げられている。男女共同参画基本計画の推進体制の整備がどのように行われているのか、また、実施されている推進状況について伺う。	村長 教育長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	芳澤 清人		<p>3 生理は、女性特有の健康課題である。生理用品には費用負担がかかることから、ジェンダー平等の観点に立ち、役場のトイレに生理用品を常備することが必要ではないかと考える。また、災害時の備蓄品として、生理用品を準備するべきであると考えているが、見解を伺う。</p>	村長
			<p>4 学校において、生理に関することを授業で扱うことや、生理用品を学校に配備することについてどのように考えるか伺う。児童生徒が健康で明るく学校生活を送ることができるという観点からも、必要なことと考えるがどうか。</p>	教育長
			<p>5 庁内の女性課長職は現在1名のみである。女性活躍推進法で定める管理職30%の比率目標値とは大きく隔たりがある状況にある。県内77市町村の課長級以上に占める女性の割合は、2024年時点で14.3%となり、全国で43位であることが、内閣府男女共同参画局のまとめで明らかになっている。本村において女性の管理職が増えない要因はどのようなものと考えているか。また、今後の対処や方向性について伺う。</p>	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2	森山 岩光	1 移動村長室について	1 月1回、1 枠1時間で4 枠を設けて実施していることは承知している。創設当初は、開催希望が多かったと聞いているが支障なく対応できたのか、現在は不都合なく希望に添えているのか、伺いたい。	村長
			2 要望事項や内容等について、どのような形で進めているのか、その場で回答しているのか、あるいは後日文書で回答しているのか伺いたい。予算計上が必要となるようなケースもあると推察するが、その点についての見解を伺う。	村長
			3 移動村長室を実施して約2年8か月が経過したが、この間にどのような意見や要望が寄せられたのか。福祉関係、教育関係、生活環境・安全、産業振興、その他の件数（累計）や内容について伺いたい。	村長
			4 採択し事業につながった件数、内容について、伺いたい。	村長
			5 村内各所に出向き、住民の方々と膝を交えて話し合い、「住民総参加で住みやすい村づくり」を目指して活動してきたと承知している。改めて、移動村長室を通じて見えてきた課題や気付き、そして今後の取り組みについて、総括としての見解を伺いたい。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2	森山 岩光	2 国民健康保険直営診療所(原村診療所)の現状について	1 中東情勢の悪化による燃料価格の高騰に加え、プラスチックの原料であるナフサの供給不足により、医療用の消耗機材や衛生材料等の在庫不足が懸念されている。この状況を踏まえ、診療所における調達状況や在庫量について、十分に確保されているのか、具体的に伺いたい。	村長
			2 令和元年度より、医師2名による診療体制(二診体制)となり、診療の充実と訪問診療・往診の強化が図られてきた。そこで、直近5年間の患者数及び訪問診療・往診の患者数の推移と見えてきた課題について伺う。	村長
			3 医師の確保については、諏訪中央病院や富士見高原病院からの医師の派遣、また会計年度任用職員医師の協力により、二診体制を維持していると承知している。しかしながら、各病院の経営環境は厳しい状況にあると聞いている。医師確保の現状について伺いたい。	村長
		3 景観形成推進の現状、課題について	1 地域景観整備事業では、①「環境美化花壇づくり」として6団体(柳沢区・八ツ手区・払沢区・柏木区・室内区・菖蒲沢区)、②「住民協定推進事業」として2団体(原村ふるさと農道深山地区景観協定・原村ふるさと農道景観協定)により、ズームライン沿いの植栽帯の整備や草刈りなどを実施し、環境美化の維持管理が行われている。これまで、活動団体からどのような相談や要望があったのか、具体的に伺いたい。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2	森山 岩光		<p>2 例えば、原村ふるさと農道深山地区景観協定は、平成9年11月に協定同意者である最寄り地権者30名体制により長野県に申請し、認定を受け、今年度で29年目を迎える。この間、会員の高齢化などにより参加人数は年々減少しており、役員からは、「参加メンバーや参加者数の減少が常態化しており、維持管理が困難である」、「公共性の高い観光道路となっており、村が行う事業ではないか」との声を聞いている。これまでこのような相談があったのか、また、村として把握しているのか伺いたい。</p>	村長
		<p>4 特定外来植物(オオキンケイギク、オオハンゴンソウ、アレチウリ)駆除の進捗、課題、促進策は</p>	<p>1 村では、自然環境保全の観点から特定外来植物の駆除促進や支援を行っていることを承知している。しかし、村内各所でオオキンケイギクが目立つ状況にある。これまでどのような取り組みや駆除を行ってきたのか。また、成果が見えない状況で、むしろ一時期より増えてきているように感じるが、その点について伺いたい。</p>	村長
			<p>2 各区等での駆除作業や景観美化活動に対し、収集運搬を行う回収車を手配している。回収車を手配した地区は、柏木区・柳沢区・ペンション区(令和6年度成果説明書)である。これら3地区以外では、どのような駆除作業を実施しているのか、伺いたい。</p>	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2	森山 岩光		3 各地区との懇談会において、一斉駆除の際には持ち込み場所が決められており、処分が可能であったが、日常的に駆除した外来植物については持ち込み場所がなく、処分に困っているとの声があった。通年で利用可能な持ち込み場所の設置を求める要望があったが、この点についての見解を伺いたい。	村長
3	中村 浩平	1 行政の対応が人によって変わる。もう終わりにしよう。	<p data-bbox="943 580 1960 791">1 住民を対象に行った議会懇談会の中で、「要望者によって村の対応に差がある」と意見があった。このことに対する村長（執行機関の長、以下同じ）の見解は。</p> <p data-bbox="943 791 1960 1046">2 令和8年度、弓振地区の一番北側で2,650万円を使って水路改修工事が実施される。ところが、議会の予算審査報告書によると「他地域からの要望は無い。」と村長答弁が記載されている。各地区からの要望はどのように募ったか。</p> <p data-bbox="943 1046 1960 1206">3 これまで特定の個人や団体に対して、有利な、また不利な事務処理をしたことはなかったか。（著しく公共性の高いものは除く。）</p> <p data-bbox="943 1206 1960 1382">4 住民には様々な政治的考えがある。それによって対応を変えたことはなかったか。</p>	<p data-bbox="1960 580 2168 791">村長</p> <p data-bbox="1960 791 2168 1046">村長</p> <p data-bbox="1960 1046 2168 1206">村長</p> <p data-bbox="1960 1206 2168 1382">村長</p>

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3	中村 浩平		5 村内に民間保育園が誕生した。当初申請するにあたっての段階から、公平で適切な対応をしてきたか。	村長 教育長
			6 保育園は本村においても、公務で行うほど非常に公共性が高い。この民間保育園を建設するにあたって、候補地となった区や自治組織の反対もあった中、村長として必要な仲介・斡旋をしてもよかったのではないか。	村長
			7 本件に対する一連の対応で、反省する点はないのか。	村長 教育長
			8 過去の反省を生かすことで良い未来が築かれる。今後は住民に、「人によって対応が変わらない信頼できる村」と言われるようにするためには、どうすればよいと考えているか。	村長
		2 もみの湯の指定管理者による改修は議会（議決）に諮るべき。	1 指定管理者による自動ゲートやタッチパネルの設置を村長（執行機関の長、以下同じ）は認め、玄関に設置された。これに対し利用者から大変な苦情を聞いているが、率直な見解は。また、このままとするのか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3	中村 浩平		2 先に、指定管理者が樅の木荘を約5,000万円かけて改修することを理由に、指定管理期間を5年延長して10年とすることが、議会において賛成多数で可決された。ところが今回、その5,000万円は、もみの湯の改修に変更すると村長から説明があった。そうすると、この時の議決の前提が大幅に変わってしまうが。	村長
			3 令和8年4月14日の全員協議会で、村長によるもみの湯改修計画図と、指定管理者による改修計画図がそれぞれ示された。この際、他の議員から指摘があったが、指定管理者の計画が、村長の改修計画図の上に描かれていた。指定管理者からデータを求める申請書の提出があった日付は。また村長が交付した日付はいつか。	村長
			4 令和8年の3月議会（会期令和8年2月27日から3月16日）において、この村長のもみの湯改修計画図が示されないまま、来年度予算案の審議が行われた。会期中にこの計画図を示せたのではないか。実施計画作成を委託した業者から、関係図書の納品があったのはいつか。	村長
			5 同じく令和8年4月14日の全員協議会で、村長は指定管理者によるもみの湯改修を認める旨の説明があった。その判断理由は。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3	中村 浩平		6 指定管理者が行う改修計画図では、大広間を分割して有料の部屋を設置し、サンドスパやプライベートサウナ室を設置するとある。これらの部屋も同様に有料になると考えられるが、公共施設の使用料（利用料）は条例で定めなければならないが。	村長
			7 指定管理者の改修が実施されると、もはやスパ（Spa）的施設であるといえる。当初の設置目的である「住民が交流するふれあいセンター」の位置付けが変わるため、条例改正が必要では。	村長
			8 元々、もみの湯の使用料は、どこに住んでいようが同一であったものを、村長案によって住民と住民以外とに区別された。この時の提案理由では、近隣市町が実施したからと説明があった。ここで茅野市はこの区別を廃止したが、村長の考えは。	村長
			9 スパ的施設であれば、住んでいる場所に関係なく、同一料金でよいと考えるが。	村長
			10 縦の木荘もそうであるが、もみの湯をこのようなスパ的施設にするのであれば、何も公金（税金）で村が運営しなくても良いと考えられる。民営化の検討はしているか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4	百瀬 嘉徳	1 第4弾農業者緊急支援給付金支給事業について	1 支給事業への申請状況はどうか。	村長
			2 補助金額に対して農家から何か要望は出ているか。	村長
			3 現在の支給額は2%分で上限40万円以内となっているが、新たに生じたイラン情勢の影響により燃料価格が高騰し、これに関連して資材価格もなお高騰している。こうした状況を踏まえ、支給額を引き上げる考えはないか。	村長
		2 農技連の（霜注意報）有線放送について	1 野菜農家等は朝早くから働き、夕方には休む体制を取っている農家が多いと思われる。近年は、気象予報技術の向上により、昼頃には霜注意報を発令できるとも聞いているが、有線放送が夕方では、その日の作業を終えて休憩している農家も多く、作物への霜対策に苦慮することが考えられる。休憩している昼頃に有線放送を流すことはできないか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4	百瀬 嘉徳	3 防犯カメラの設置について	1 近年、犯罪等に対しては防犯カメラが有効な防犯効果を持つと報じられている。公共施設等では、文化園におけるグレーチング盗難事件以外に大きな犯罪は発生していないものの、万一の事態に備え、村の施設にも防犯カメラの設置が必要な時期に来ていると考える。特に、防犯上は建物の玄関付近への設置が有効と聞くが、この点についての見解はどうか。	村長
			2 各区においても、重要な建物には防犯カメラを設置した所がある。また、金属の銅や銅線の盗難が各地で報じられている。区からの要望があれば、村としても公共の場所への防犯カメラ設置費用に対して補助する必要があると考えるが、この点についての見解はどうか。	村長
		4 「星降る里」の歌の活用について	1 村内で歌われているアクアマリンの「星降る里」は、小中学生のほとんどの生徒や児童が知っている歌である。もっと村民にもPRし、村内での利用を促進し、原村を代表する歌として行事等でさらに活用していくべきではないかと考えるが、この点についての見解はどうか。	教育長
			2 村にとって非常に良い歌であることから、学校や各種行事等において、さらに積極的に活用していくべきと考えるが、この点についての見解はどうか。	教育長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5	村田 俊広	1 給食費無償化はじめ、生徒児童への補助について	1 小学校の給食費について国県補助と給食費の差額の補助について検討状況は。	教育長
			2 中学校の給食費補助についての検討状況は。	教育長
			3 木祖村では修学旅行費用を助成している。行き先の多様化を図るため本村でも補助を開始してはどうか。	教育長
			4 フリースクール利用者への補助が今年度から始まったが、申し込み状況はどうか。	教育長
			5 県のフリースクール認証制度上の無認可フリースクールについても補助があってしかるべきではないか。	教育長
			6 無認可フリースクールの情報把握はしているか。	教育長
		2 人権の諸課題について	1 外国人の労働条件あるいは生活状況を把握しているか。	村長
			2 生活保護の支給数と支給額の推移は。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5	村田 俊広		3 生活保護受給相談数の推移は。	村長
			4 地域福祉計画では自助を強調しすぎではないか。そのために行政への相談件数が低い水準にとどまっているのではないか。	村長
		3 国民健康保険税に関連して	1 資格確認書の発行はいつまで継続する予定か。	村長
			2 国民健康保険税は増税の一方で給付の改善はほとんどない。出産手当を創設してはどうか。	村長
			3 傷病手当の利用実態はどうか。	村長
			4 減免制度の利用状況はどうか。周知は十分行われているか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
6	松下 浩史	1 子どもの放課後の居場所づくりと地域による見守りのあり方について	1 放課後の子どもの居場所に対する基本的な考え方について伺う。 学童クラブ、子ども・子育て支援センター、図書館、公民館等、それぞれの役割や位置づけをどのように整理しているか。 また、現在の利用実態と制度上の位置づけとの間に乖離が生じている現状について、どのように認識しているか。	教育長
			2 安全管理と自由な居場所のバランスについて伺う。 放課後の子どもの活動における安全管理責任について、行政はどの範囲まで担うべきと考えているか。また、リスク回避を優先することで、子どもの自由な居場所や活動機会が狭まることについて、どのように考えているか。	教育長
			3 行政・家庭・地域の役割分担について伺う。 放課後の子どもの見守りや居場所づくりについて、行政、家庭、地域、利用者それぞれの役割分担をどのように考えているか。また、行政職員による対応には限界もある中で、地域住民や団体等が関わる仕組みづくりについてどのように考えているか。	教育長
			4 地域主体による居場所づくりの可能性について伺う。 既存施設の活用も含め、行政主体だけではなく、地域住民、団体、民間等による多様な居場所づくりや見守り体制の構築について、今後検討していく考えはあるか。	教育長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6	松下 浩史	2 住民協働による持続可能な地域づくりについて	<p>1 区・自治会の役割に対する認識について伺う。</p> <p>原村では、区・自治会が地域環境の維持や住民同士の支え合いなど、様々な役割を担ってきたと考えるが、村として現在の区・自治会の役割をどのように認識しているか。また、今後の地域づくりにおいて、区・自治会をどのような存在として位置づけているか。</p>	村長
			<p>2 行政と地域の役割分担について伺う。</p> <p>高齢化や区加入率の低下などにより、これまで地域で担われてきた活動の継続が難しくなっている現状について、どのように認識しているか。また、小規模自治体として持続可能な地域づくりを進める上で、行政と地域それぞれが担う役割についてどのように考えているか。</p>	村長
			<p>3 地域活動に対する村の意思表示について伺う。</p> <p>これまで地域活動の多くは、慣習や地域の自主的な取り組みによって支えられてきた側面もあると考える。今後、地域活動を維持していくためには、村として地域に期待する役割や、協力をお願いしたい内容について、改めて整理・共有していく必要があるのではないか。村としての考えを伺う。</p>	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
6	松下 浩史		<p>4 住民協働による村づくりの意識醸成について伺う。</p> <p>今後も村を維持していくためには、行政サービスだけではなく、住民同士の支え合いや地域活動の重要性を共有していくことが必要と考える。住民協働による村づくりの意識醸成について、今後どのように取り組んでいく考えか。</p>	村長
7	小松 志穂	1 ターゲットを明確にした戦略的な移住定住施策の展開を	<p>1 令和8年度予算会見において、「移住人気や幸福度が高い理由を言語化できた」との村長発言があった。その具体的な分析内容は。また、現在の移住定住施策にどのように反映されているか。反映されていないのであれば、今後どのように、いつから反映させていくか。</p> <p>2 移住定住施策を効果的に展開するためには、転入者の属性や定着率などのデータを継続的に把握し、施策の効果検証を行うことが不可欠である。現在、総合計画内の地域創生総合戦略で転入者の年代やエリアを分析しているが、その他のデータをどの程度把握・分析しているか。また施策の効果検証はどのような体制で行っているか。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p>

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
7	小松 志穂		<p>3 転入超過を維持する一方で、生産年齢人口比率は減少が続いており、出生数も長期的な減少傾向にある。転入超過を維持しながら少子高齢化が加速する構造的矛盾を村はどう認識しているか。また、現行の施策はこの構造的課題に対して有効に機能していると考えるか。</p>	村長
			<p>4 出生数の減少が続く一方で就学前に毎年一定数の転入があり、村の児童生徒数が一定程度維持されている現状がある。この実態をどう評価しているか。また、今後の見通しはどうか。</p>	村長
			<p>5 村の持続可能性を高めるためには、移住定住や関係人口創出施策において、子育て世代を明確な重点ターゲットに定め、戦略的に施策を展開する必要があると考える。また、若者世代の転入の多くはIターンであると村は分析しているが、区への加入や地域コミュニティへの参画の観点からも、Uターン者の確保も有効と考える。 こうしたターゲットの優先順位付けと戦略的な施策展開について村の考えは。</p>	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
7	小松 志穂		6 ターゲット戦略の具体策として、「保育園留学」の取組みが関係人口の創出や移住定住につながる可能性がある。実績を上げている自治体も増加しているが、当村での検討状況はどうか。	村長 教育長
			7 自治体が空き家を借り上げてリフォームし、子育て世代に貸し出す取組みも増えている（令和5年第4回定例会でも言及）。空き家対策、移住促進、子育て支援など多面的に有効と考えるが、当村での検討状況や実現可能性はどうか。	村長
			8 Uターン推進のための取組み強化も必要と考える。ふるさと住民登録制度のプレミアム登録を活用したり、農作業体験を組み込んだホームカミングデーの開催など、村出身者との接点を意図的に作り続ける仕組みが必要と考える。Uターン推進に向けた村の考えや今後の取組みは。	村長
			9 これらの施策を実効性をもって推進するには体制整備が不可欠である。現状の担当係の体制で十分と考えるか。今後の展望は。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7	小松 志穂	2 「ゆる活」をどう進めていくか	1 部活動の地域展開に併せ、生徒が多様な体験を気軽にできる「ゆる活」の取組みを進めるとしている。どのようなものを目指し、どのような活動を進めていくか。	教育長
			2 部活動の地域展開ではコーディネーターが設置されている。ゆる活の推進はどこが（誰が）こうしたコーディネーター的な役割を担い推進するか。組織体制はできているか。また、ゆる活推進にあたり、生徒の意見聴取はできているか。	教育長
			3 地域で活動する団体への周知や協力依頼は進めているか。協力可能な団体（または個人）がいた場合に、「ゆる活」と認める基準や運用ルール、謝礼を支払う条件などは整備されているか。	教育長
			4 社会体育館等公共施設の開放日を設け、活動場所や機会を確保しながら生徒の意向や動向を把握することから始めてみてはどうか。	教育長
			5 ゆる活も部活動の地域展開も、村からの情報が不足している。保護者説明会や広報誌への掲載に留まらず、知りたい時に誰もが情報にアクセスできるようにすべきでは。	教育長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8	半田 裕	1 公共施設の業務委託や指定管理の検討結果は	1 図書館についての検討結果は。	教育長
			2 社会体育館についての検討結果は。	教育長
			3 中央公民館についての検討結果は。	教育長
			4 子ども子育て支援センターについての検討結果は。	教育長
			5 学童クラブも業務委託が有効と考えるがどうか。	教育長
		2 職員による山形県西川町への視察研修の成果と今後の取り組みについて	1 視察の成果についてどのように捉えているか。	村長
			2 視察を受けすぐに本村で活かせることと、中長期的に取り組みたいことは。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8	半田 裕	3 村づくり懇談会の成果と解決に向けた施策について	3 西川町の補助金獲得の取り組みは参考とすべき。獲得に重要なのは誰がキーマンとなるのか。本村でのその役割は誰が担うか。(村長、政策アドバイザー、企画財政課)	村長
			1 懇談会を受けて見えた課題と、課題の解決に向けての今後の取り組みは。	村長
			2 今回出されたような課題の解決には西川町の「おたすけ隊」が参考になるのでは。まずはモデル地区を設定し、地域の困りごとの解決に協力隊インターン制度を導入しては。	村長
9	佐宗 利江	1 もみの湯改装について	1 指定管理者による改装の内容の確認について。	村長
			2 指定管理期間延長時に指摘されていた本館防音工事等の問題点への対応は。	村長
			3 改装について住民意見をどう考えるか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9	佐宗 利江	2 住民による職員の人事評価の実施について	1 住民より要望があるがどう考えるか。	村長
			2 住民サービスの向上と職員保護が両立できる運用方法はあるか。	村長
		3 「日本風景街道」への登録について	1 エコーラインを「日本風景街道」へ登録を目指してはどうか。	村長
			2 主要な観光地がない当村において、道路を観光資源と出来るか村の考えは。	村長
		4 森林管理の必要性について	1 村内の森林の管理が近隣市町に比べて難しいと言われている。森林管理についての考えはあるか。	村長
			2 村が民有林の森林経営計画のサポートをするなど森林全体の管理に取組んではどうか。	村長
			3 面としての森の機能を維持するため、無計画な伐採等を防ぐことが求められているがどう考えるか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9	佐宗 利江		4 環境保全条例の改正に伴い、森林管理について盛り込んではどうか。	村長
10	宮坂 早苗	1 診療所と組合立諏訪中央病院、今後の役割分担と連携のあり方について協議を	1 現在、村の医療機関として、診療所と原村、茅野市、諏訪市で経営している組合立諏訪中央病院がある。現状、医師確保の難しさ、人口減少社会による将来的な財源確保に課題がある。また、「八ヶ岳西南麓医療構想」について説明を受けた。現状、今後の診療所経営について、どのように考えているか。	村長
			2 今後、業務連携を進めながら、役割分担について協議し、財政的な負担軽減と経営継続できる体制を考えていく必要がある。その一つの方法として、オンライン診療を進め、村内に限らず、在宅医療や訪問看護などを進めること、受託することも考えられる。オンライン診療の導入を進めては。	村長
			3 オンライン診療は、移動による医師の負担軽減を行うことができる。実施できれば、診療所が組合立諏訪中央病院の外来負担の軽減に貢献でき、退院後の患者のケアを担うことも考えられる。組合立諏訪中央病院と協議し、連携した体制を考えていく必要があるのでは。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
10	宮坂 早苗		4 今後、長く経営することを考えると環境整備は不可欠。オンライン診療と感染症に対応した環境整備を行う必要がある。目的を設定し、資金集めを行うことも考えては。ガバメントクラウドファンディング、企業版ふるさと納税等をはじめの必要があるのではないか。	村長
		2 ネクスコ中日本 原 PA「ぷらっとパーク」との連携で周辺に賑わいを	1 ネクスコ中日本では、一般道からでも一般客が気軽にご利用できるように整備している SA・PA を「ぷらっとパーク」と名付けている。村内には、上り下りの PA があり、施設は、昼時など多くの一般客が利用している。しかし、一般の駐車台数は、HP 上で確認する限り、上り 2 台、下り 1 台となっている。ネクスコと協議し、駐車スペースを増やした方が良いのでは。	村長
			2 トラック運転手は「2024 年問題」で、トラック運転手の労働時間の上限、休息時間の確保が厳格化された。しかし、現実には休める場所がない、休憩が取れない、違反になる、という構造的な問題がある。ぷらっとパークは、“休憩場所不足”という根本課題を解消するインフラとして機能する。パーキング自体の駐車スペースを広げることも考えられる。物流問題は、村の産業にとっても重要な関わりがある。原 PA が安心して休める場所となるよう、駐車スペースの確保について協議を行っては。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
10	宮坂 早苗		3 ネクスコ中日本と中日本エクシスとの地方創生連携協定を締結した。PA を通じて村を知っていただくことが重要と考える。特に上りPA 周辺で、農産物の直売所や阿久遺跡の活用などが出来れば有効と考える。そのほかにも、スマートインターチェンジの設置にも繋がると良い。その後の協議の方向性は。	村長